

トルコギキョウ(花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使用 時期 (日 数)	使用 回数	炭疽 病	斑点 病	灰色 かび 病	菌核 病	うどん こ病	根腐 病	立枯 病 (フザリウム菌)	アザ ミウマ 類	アブラ ムシ 類	コナジ ラミ 類	ハモグ リバエ 類	オオタ バコガ 	シロイ チモジ ヨトウ	ハスモ ンヨト ウ	ネコブ センチュ ウ
トップジンM水㊦	1		-	5		◎		◎											
ベンレート水㊧	1		*d	1							灌								
パレード20FL	7		*c	3		◎			◎										
アミスター20FL	11		*e	5		◎													
ファンタジスタ顆水	11		*c	5		◎	◎												
メジャーFL	11		*a	3		◎													
サブロール乳	3		*c	5		◎			◎										
スコア顆水	3		*e	6		◎													
ポリオキシシAL溶	19		*c	8		◎													
ジマンダイセン水	M3		*c	8	◎														
ダコニールアルファ	M5		*e	6		◎													
ユニフォーム粒	4・11		*g	1		水				水									
マイコタール	-		*a	-								シ							
ジェイエース粒	1B		*a	5								◎	◎						
スミフェート粒	1B		*a	5								◎	◎						
アディオオンFL	3A		-	6								ヒ							
スカウトFL	3A	劇	-	5								◎	◎						
テルスターFL	3A	劇	-	3								ヒ							
トレボン乳	3A		-	6														◎	
マブリック水20	3A	劇	*a	2								◎							
アクタラ顆溶	4A		*a	6								カ		◎	◎				
マトリックFL	18		*a	4													◎		

㊦：チオファネートメチル含有剤 ㊧：ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での
 ◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP. 856
 参照）。

*a:発生初期 *b:植付前 *c:発病初期 *d:定植前日

*e:発病前～発病初期 *f:定植前日～定植当日 *g:定植時

カ:ミカンキイロアザミウマ

シ:施設栽培でミカンキイロアザミウマに登録

ヒ:ヒラズハナアザミウマ

灌:セル成型育苗トレイ又はペーパーポットに灌注処理する。

水:水耕栽培を除く。

トルコギキョウ (花き類・観葉植物の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
炭疽病	生育期 (発病初期)	・次の薬剤を散布する。 ジマンダイセン水和剤 400倍	
立枯病(フザリウム菌)	定植前日	・次の薬剤を灌注処理する。 ベンレート水和剤㊟ # 1000倍	#セル成型育苗トレイ 1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、 使用土壌約4～5L)あたり 0.5L。
苗立枯病 株腐病 根腐病	定植前	1. 圃場の排水に留意する。 2. 健全苗を用い、軟弱徒長した苗を定植しない。 3. 次の薬剤いずれかで土壌消毒する。 ガスタード微粒剤* バスアミド微粒剤* いずれも20～30kg/10a	株腐病はリゾクトニア菌、根腐病はピシウム菌による。 *苗立枯病、株腐病は花き類・観葉植物での登録
灰色かび病	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 ゲッター水和剤㊤●* 1000倍 フルピカフロアブル* 2000～3000倍 サンヨール(乳)* 500倍	●耐性菌を生じやすいので連用しない。 *花き類・観葉植物での登録
アザミウマ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 オルトラン粒剤(株元散布)* 3～6kg/10a スカウトフロアブル 2000倍 マブリック水和剤20 4000倍	*花き類・観葉植物での登録
シロイチモジヨトウ	生育期	1. 施設の側面及び妻面に防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 2. 次の薬剤を散布する。 ロムダンフロアブル* 1000倍	*花き類・観葉植物での登録
ハスモンヨトウ	生育期	1. 施設の側面及び妻面に防虫ネットを張り、成虫の侵入を防ぐ。 2. 次の薬剤を散布する。 トレボン乳剤 1000倍	
その他の病害虫		モザイク病、アブラムシ類、ネコブセンチュウ類	